

## 【出展報告】「第9回鉄道技術展」

### —「インフラ保全のエキスパート」として、多様な技術を紹介—

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング（本社：東京都台東区、代表取締役社長：遠藤一郎、以下 ATK）は、2025年11月26日（水）から29日（土）まで幕張メッセ（千葉県千葉市）で開催された「第9回鉄道技術展」（主催：産経新聞社）に出展しました。

会期中は、前回は上回る39,120名（主催者発表）の来場者が訪れ、会場は大いに賑わいました。

「確かな技術で、社会づくりに貢献する」をミッションとする ATK は、本展示会において「インフラ保全のエキスパート」として、鉄道構造物の維持管理に貢献する以下の技術を展示し、来場者の皆様にご紹介しました。

#### 主な展示内容

No	展示技術名	概要
1	傾斜計・土壌水分計同時観測システム (ATK-SAMS)	斜面の傾斜加速度と地中の体積含水率を同時に計測することで、斜面の表層崩壊リスクを事前に把握するシステムです。遠隔でのモニタリングが可能であり、鉄道盛土の維持管理に有効です。
2	MR 技術を活用した「点検アプリ」の開発 (点検技術のスマート化)	MR グラスを活用した効率的な鉄道施設点検手法です。点検結果をデジタル化し、システム上で一元管理することで、点検業務の高度化・省力化を実現します。
3	SAR 衛星による地表面の沈下解析	広範囲かつ高精度に地表面の変位を把握でき、鉄道沿線地盤の監視や盛土・切土の安定性評価などに有効な技術です。

会期中、特に「MR 技術を活用した点検アプリ」には高い関心が寄せられ、多くの来場者が MR グラスを実際に装着し、視認性や操作性を体験されました。また、「ATK-SAMS」についても、設置方法や運用面に関するご質問をはじめ、多岐にわたるご意見・ご要望を頂戴しました。

ATK は今後も、鉄道インフラの安全・安心を支える技術の開発と社会実装を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



「展示ブース全景」



「説明の様子（MR点検技術）」

以上

<本資料に関するお問い合わせ>

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング 経営管理本部 中西（03-5246-4150・代表） <https://www.atk-eng.jp/>